

社会福祉法人 いわせ長寿会 令和2年度 事業報告

令和2年度につきましては、「共に生き、わかちあえる毎日」の運営理念実現のため役職員一丸となり取り組んで行く予定ではありましたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から各取り組み等における中止や変更等があり、感染防止を最優先に取り組んだ1年となりました。

稼働率については、例年通り各事業所、ユニットそれぞれ事業計画に基づき「財務・顧客・業務・人材」の4つの視点で目標設定を行い事業を展開いたしました。

以下項目別に詳細を報告いたします。

1-1. 評議員会

令和2年度において評議員会1回を下記のとおり書面決議にて実施し、いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R2.6.19 定時評議員会	評議員7名 監事2名 理事2名	1. 令和元年度事業報告並びに決算について 監事監査報告	事業報告並びに決算について承認するもの。

1-2. 理事会

令和2年度において理事会3回を下記のとおり書面決議にて実施し、いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R2.5.22 定例理事会	理事6名 監事2名	1. 令和元年度事業並びに決算の承認について 監事監査報告 2. 給与規程の一部改定について 3. 短期資金借り入れの承認について 4. 定時評議員会の招集について 他、報告1件	3は短期借り入れ承認するもの 4は定時評議員を招集するもの いずれも原案通り可決承認するもの。

R2.12.18 定例理事会	理事 6 名 監事 2 名	1、第一次補正予算（案）について 他、報告 1 件	1 は過不足が認められるものの補正 原案通り可決承認するもの。
R3.3.26 定例理事会	理事 6 名 監事 2 名	1、評議員選任候補の推薦について 2、令和 2 年度最終補正予算（案）について 3、諸規程の一部改定について 4、令和 3 年度事業計画（案）について 5、令和 3 年度資金収支予算（案）について 6、令和 3 年度短期借入限度額の承認について 7、理事長の利益相反取引の承認について 8、評議員選任・解任委員会の招集について	1 は、評議員選任候補者の承認するもの。 3 は、法改正等における諸規程一部改定の承認するもの。 6 は、短期借入限度額の承認するもの。 8 は評議員選任・解任委員会招集するもの。 いずれも原案通り可決承認された。

令和 2 年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

2-1

特別養護老人ホーム

1. 目 標

- (1) 提供サービスのブラッシュアップを図り、利用者・家族からの負託に応える
(2) 生産性を上げ「人が集まるサイクル」の構築

2. 事業計画達成のための業務目標

視 点	番 号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成 率
財 務	①	要介護度の高い利用者の その人らしい暮らしの充実	寝たきり・看取り利用者の生活及びケ アの充実	寝たきり・看取り利用者への施設 内デイサービスの開催 季節毎 1 回/年 4 回実施	上半期 未実施 0% 下半期 100% 全期 50%
	②	多様な利用者の受入拡大	介護現場での基礎疾患や薬の知識習 得及び向上	病気の予後予測を含め事前に検 討し、現場職員の実調対応でス ムーズな入居につなげる 現場実調参加(4/年)	上半期 25% 下半期 0% 全期 12.5%
顧 客	①	利用者の意向を尊重した サービス提供	運営理念に基づく職員像の育成	継続研修や階層別研修を行い、 モチベーション維持、帰属意識の 醸成につなげる。研修計画作成。 実施	上半期 0% 下半期 50% 全期 25%
	②	地域福祉教育の推進	地域の福祉関連での困りごとの相談窓 口となる	出前講座や祭り参加など外へ出 る行事 3 回以上	上半期 0% 下・全期 0%
業 務	①	実習受入計画・指導計画 策定	専門・外国人技能実習受入と指導	1 名以上/年間	上 半 期 100% 下 全 期 100%
	②	利用者の生活見直し	人員不足などで簡素化した業務を利用 者特性に応じて対応	24 時間シートをベースに利用者 の意向か職員側の都合か再確 認 24hシート/90 人	上半期 0% 下 半 期 100% 全期 50%
人 材	①	各職員の介護技術向上	各職員のレベル把握と指導方法の確立	中堅、役職者研修(リーダーズ研 修等の指導者研修)を行う 研修計画作成。実施	上半期 0% 下半期 50% 全期 50%
	②	利用者の生活見直し	各ユニットの個性を保ちながら、緊急 時などフォローしあえる体制作り	ユニット間で夜勤を行き来できる 職員の育成 (各ユニット 2 名以上)	上半期 2 名 実施 20% 下半期 60% 全期 80%

令和 2 年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

2 - 2

短期入所生活介護

1. 目 標

- (1) ニーズに合ったケアが行え、選んでもらえるショートステイを目指す
(2) 根拠を理解した介護が行えるようになる

2. 事業計画達成のための業務目標

視 点	番 号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財 務	①	感染症の予防	体調不良の早期発見ができ、感染症が蔓延しないようにする。	苑内感染での途中退所 0 件	上 0 件/100% 下 0 件/100% 通 0 件/100%
	②	個別ケア	本人や家族に、再度利用してもらえる様なケアの取り組みをして行く。	リピート率 90%	上 91%/100% 下 88%/98% 通 90%/100%
顧 客	①	忘れ物、荷物誤混入が予防できる	入所、退所時に荷物の確認を行い、誤混入や忘れ物の数を軽減させる。	忘れ物、誤混入 年間 8 件以下	上 8 件/0% 下 6 件/0% 通 14 件/0%
	②	利用者や家族との信頼関係構築	本人や家族とコミュニケーションをしっかりと取り、信頼関係を築く。	事前連絡対応が職員全員出来る	上 6 人/80% 下 6 人/80% 通 6 人/80%
業 務	①	服薬事故が防げる	利用者の状態の把握をして、その人に合った服薬介助が出来る。	職員要因の服薬事故 0 件/年	上 0 件/100% 下 2 件/0% 通 0 件/0%
	②	転倒・転落事故が防げる	利用者のアセスメントを随時行い、転倒・転落防止の対応をする。	転倒・転落事故 8 件/年	上 10 件/0% 下 6 件/0% 通 16 件/0%
人 材	①	介護技術・知識の向上	1 人、年に 1 回外部研修に参加。参加した内容をユニット会議時に発表する。	1 人 1 回/年	上 3 人/80% 下 2 人/40% 通 5 人/55%
	②	働きやすい環境作り	健康状態の聴き取り、シフト調整。誰でも意見や要望を言えるようになる。	年 2 回の面談実施(人事考課以外)	上 0 名/0% 下 2 名/25% 通 2 名/13%

令和2年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-3

通所介護

1. 目 標

- (1) 個別対応の充実を図り質の向上と安定したサービスの提供。
(2) 安定収支の為の手段・方法の確立（稼働率 83.2%）

2. 事業計画達成のための業務目標

視 点	番 号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財 務	①	利用者数の安定	登録者獲得に向けた方法の確立	稼働率 83.2%	前期登録人数 上期 16名 100% 下期 9名 75% 通期 88%
	②	在宅生活の継続を支える	過剰介護防止と気づきを養う	24H シート 担当	上期 50% 下期 50% 通期 50%
顧 客	①	余暇活動充実	活動内容のプログラム化	プログラム表	上期 50% 下期 100% 通期 75%
	②	目的の明確化	各利用者毎のプラン目標に沿った小集团的取組の充実	グループ表作成・実施・評価	上期：50% 下期：100% 通期 75%
業 務	①	利用者・家族との信頼関係の構築	送迎時の情報交換の共有	申し送り機能での各個人実績評価	上期 0% 下期 100% 通期 50%
	②	サービスの質の向上	基本介護の充実と接遇の徹底	年2回利用者による職員評価の実施	上期：100% 下期：100% 通期 100%
人 材	①	スキルアップ	①委員会役割分担の明確化 ②業務分担効率化	分担表作成・実施	上期実施 100% 下期実施。100% 通期 100%
	②	働きやすい環境作り	環境整備	随時・毎月実施	上期：0% 下期 100% 通期 50%

令和2年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-4

居宅介護支援事業所

1. 目 標

- (1) 新規プランの獲得とプラン実績数の安定
- (2) サービスの質の向上のため幅広い知識の習得

2. 事業計画達成のための業務目標

視 点	番 号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財 務	①	新規契約の獲得とプラン数の維持	最高 93 件のプラン数	ピーク 93	上期最大 94 件 (100%) 新規 26 件 (前年度-52%)
	②	認定調査の実施	認定調査の実施	年間 60 件 以上	20 件 33%達成率
顧 客	①	利用者・家族の信頼、満足度の確認と向上	利用者、家族の意向に沿った対応 倫理観の向上、幅広い知識の構築	苦情 0 件	1 件(電話対応)
	②	地域、他法人連携の構築	地域参加 他法人、事業所との連携	前期後期 計2回以上	実績なし
業 務	①	ケアマネ業務内容の情報共有	情報の共有 業務負担や役割分担	月1居宅会 議	100%実施
	②	行政・包括・医療・地域との連携強化	情報の共有、研修参加、地域ケア会議等参加、災害対策の確認	研修参加	実績なし
	③	委員会活動	各委員会に参加。 倫理観の向上、幅広い知識の習得、発信	情報提供 (全員)	100%参加
人 材	①	次期改正に向けたスキルアップ	内部、外部研修の参加 ケアプランチェック eラーニング等で知識の習得	年間 5 回 以上 研 修 参 加	研修参加なし
	②	働きやすい職場環境作り	お互いの仕事の状況の把握 協力体制作り(記録整備) 残業代軽減や業務効率向上の 為の勤務時間の検討	フレック ス 制 の 検 証	フレックス1回 実施

令和2年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

2-5

訪問介護

1. 目標

- (1) 訪問件数の量的拡大
- (2) サービスの質の向上と安定

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	新規利用者獲得	各居宅と連携し新規獲得に努める。他事業所居宅へ空き状況の発信を行う。	新規契約 月平均2名	上期10名100% 下期9名100% 通期15名100%
	②	相談件数のアップ	訪問介護のセールスポイントのPRの実施	営業活動 1回/月	上期 立案中→50% 下期→50% 通期→50%
顧客	①	信頼関係の構築	サービスの質の向上	モニタリング評価: 1回/3カ月	上期→100% 下期→100% 通期→100%
	②	訪問介護業務の標準化	利用者、家族、居宅介護支援事業所との連携を図り、ニーズの再確認とアセスメントの実施	1回/半年	上期→100% 下期→30% 通期65%
業務	①	ケアプランに沿ったサービスの提供	他職種連携の強化	目標達成率 の評価随時	上期→実施100% 下期→60% 通期→80%
	②	スケジュール管理	業務の効率化に努める	同行訪問率:常勤 100%/兼務 70%	上期 同行率→63% 下期→65% 通期→64%
人材	①	知識技術の向上	内外部への研修 スタッフミーティングと勉強会への参加	1回/月	上期 作成済100% 下期→100% 通期→100%

令和2年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-6

訪問看護

1. 目 標

- (1) 利用者月平均40人の達成
- (2) 訪問看護サービスの質の確立

2. 事業計画達成のための業務目標

視 点	番 号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財 務	①	新規利用者獲得	居宅介護支援事業所や診療所等の訪問を通して、顧客獲得を図り認知度アップを図る。	月 平 均 2 名	上期 16 名 100% 下期 15 名 100% 通期 31 名 100%
	②	時間管理の徹底	労働生産性向上を図る	付加価値 額/職員数	
顧 客	①	訪問看護サービス業務の確立	個々に合った臨機応変な対応を可能にする	アセスメントの見直し評価	100%
	③	利用者・家族の信頼構築	サービスの質向上の為に毎月モニタリング実施	満足度 80%以上	75%
業 務	①	多職種連携	内外部の職員間連携強化	担当者会議参加 100%	100%
	②	業務手順書等の確立	手順書やマニュアルの整備で業務の標準化を図る。	手順書又はマニュアル作成	70%
人 材	①	看護技術の標準化	施設内勉強会や研修への参加	1 人 年 3 回 以上	60%

令和2年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-7

介護職員初任者研修事業

1. 目 標

- (1) 当法人職員人材教育能力の向上
- (2) 地域における福祉理解向上と人材育成

2. 事業計画達成のための業務目標

新型コロナウイルス感染防止の観点から令和2年度の開催中止

3 職員研修

職員の技術力向上及び知識力向上を目的に、より利用者に「安心・安全」に生活していただくため実施し、令和2年度は職員が密集する事を避け配信により実施し取り組みました。

3-1 施設内研修

時 期	参加者数	参加率
通期 (12/1～12/14)	80 名	96.3%

* 内容：事故防止・食中毒蔓延防止・感染症予防・認知症・苦情相談・急変時対応

3-2 施設内外部講師研修

新型コロナウイルス感染防止の為に中止（予定5件）

3-3 施設外研修

主催団体等	研修名	延参加数	内訳
福島県	認知症介護基礎研修	2 名	集合
福島県社会福祉協議会	キャリアパス対応研修	2 名	集合
	現任職員研修	3 名	集合
	WEB 説明等	2 名	集合
福島県老人福祉施設協議会	職員スキルアップ等研修他	5 名	集合
全国老人福祉施設協議会	職員スキルアップ等研修他	5 名	オンライン
福島県福祉サービス振興会	職員スキルアップ等研修他	11 名	配信
ユニットケア推進センター	ユニットケア研修	1 名	オンライン
その他	その他管理運営等に関する研修	54 名	集合・配信・オンライン
延べ参加者数（内オンライン・配信研修47件）		85 名	

4 健康管理

入居者の健康管理は、嘱託医や協力医療機関との連携に努めながら「早期発見・早期対応」に努め、近年増加傾向にある終末期における医療の在り方等も嘱託医や家族との話し合いのもとに進めました。

4-1 嘱託医師及び協力医療機関

嘱託医師	阿部内科医院（阿部裕光医師 内科医） 毎週木曜日
協力医療機関	公立岩瀬病院 森宿歯科医院（口腔指導年5回）

4-2 入院状況等

1. 入院実数	20人
2. 死亡者数	19人（看取り13人）
3. 救急車要請	10件

5 苦情及びご意見等

苦情件数（全事業含）	8件（接遇7件・利用者対応1件）
ご意見箱投書	3件（公表可のみ 感謝3件）

6. 面会者実績

令和2年度における面会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、看取り同意書利用者については直接面会対応とし、通常面会はテレビ電話又はラインビデオ通話を活用した面会方法にて対応させて頂きました。

年 度	テレビ電話	ラインビデオ通話
2年度	184人	35人

7. 公益的な取組内容

社会福祉法の改正等により社会福祉法人の責務として地域における公益的取組の実施が求められました。いわせ長寿会としても「施設の廊下を地域の方々の玄関につなぐ」をモットーに取組に努めました。

内 容	開催時期	開催場所	その他
施設内展示入替	通期	長寿苑玄関前ホール他	6回

*内訳：切り絵・絵画・写真

8. 主な行事の実施状況（家族会と共催）

開催時期	事業内容	内訳	主催
令和2年4月19日	観桜会	観桜会として、花見膳を提供し利用者と一緒に食する	家族会
令和2年9月6日	花火鑑賞会	コロナ禍における中でひと時の心の安らぎを与えた	長寿会との共催
令和2年9月21日	敬老会	記念品を贈り、敬老をお祝いする お祝い該当者：16名	長寿会との共催
令和2年4月1日 ～令和3年3月31日	誕生祝い	利用者様全員へ誕生日のお祝いに記念品を贈る。1人上限1,500円	家族会